

学科 学年	MED S1年	科目 分類	生物学 Biology	講義 必修	H23前後期 1履修単位	学習教育 目標 2	担当	吉田 進 Susumu Yoshida
概 要	現代の生命科学の進歩は、医療をはじめ、人類の福祉に多くの貢献をしている反面、人間自らの手で「生命を操る」ようになったことから、倫理的に問題を生じている。それゆえ、正しい生命観を持つことはきわめて大切である。それゆえ、人間を含めた生態系に対して謙虚に向き合う姿勢を養う。							
科目目標 (到達目標)	細胞の構造と機能、代謝、遺伝などを通してヒトと他の生物との共通点、相違点などを学び、生命体としてのヒト（自分自身）の理解を深める。							
教科書 器材等	高等学校 新編 生物 I（啓林館） ネオパルノート生物 I（第一学習社問題集）							
評価の基準と 方法	定期テスト(中間および期末)80%、ノートのまとめおよび課題の提出を20%として総合100点満点で評価する。また、授業に対する取り組みの姿勢も評価の対象とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		細胞の構造と働き						
第2回		細胞の機能 細胞膜と水の浸透 酵素の働き						
第3回		細胞の機能 選択的透過性と物質の出入り						
第4回		細胞の分裂 染色体の本体						
第5回		動物のからだの成り立ち						
第6回		生殖と発生						
第7回	×	中間試験						
第8回		中間試験の返却と解説 発生の過程						
第9回		刺激の受容と反応 神経細胞						
第10回		刺激の受容と反応 興奮の発生と伝道						
第11回		刺激の受容と反応 感覚器						
第12回		刺激の受容と反応 筋肉の収縮メカニズム						
第13回		神経系						
第14回		恒常性 体液の恒常性 血液						
第15回		恒常性 ホルモンと自律神経系						
第16回	×	肝臓と腎臓						
		期末試験						
オフィス アワー								
授業アンケート への対応								
備 考								
更新履歴	2011/03/22 更新							